

逗子市・葉山町容器包装プラスチックの共同処理について

(概要)

1 容器包装プラスチック処理施設の現状

逗子市：・逗子市環境クリーンセンター内に容器包装プラスチック処理施設（リース）あり。処理施設で圧縮梱包後、大型トラックで資源化施設へ運搬し資源化。

- ・平成 22 年 10 月に稼働開始し、稼働後 8 年が経過しているため、老朽化が激しく施設の更新が必要。

葉山町：・葉山町クリーンセンター内にストックヤードあり。処理施設なし。大型パッカー車に積み替え、民間の選別処理施設へ運搬。選別処理施設で圧縮梱包後、大型トラックで資源化施設へ運搬し資源化。

- ・自前の選別処理施設を持たず、民間の選別施設へ運搬するため、コストがかかっている。

2 容器包装プラスチック年間収集量（平成 29 年度）

逗子市 903 トン 葉山町 590 トン 合計 1,493 トン

3 更新する施設の施設規模（スペック 1 トン単位）

単独処理（逗子市単独）：1 時間あたり 0.82 トン⇒1 トン/時 規模

共同処理（逗子市葉山町）：1 時間あたり 1.36 トン⇒2 トン/時 規模

4 コスト比較（年間予算見込額）

単独処理（逗子市単独）：50,000,000 円（全額逗子市負担） トン単価 55.46 円

共同処理（逗子市葉山町）：54,500,000 円 トン単価 36.53 円

（搬入量割により負担逗子市負担額約 33,000,000 円、葉山町負担額 21,500,000 円）

共同処理が単独処理に比べて年間約 17,000,000 円のコストメリットあり

5 葉山からの搬入車両台数（予定）

2 トンごみ収集車（パッカー車） 週 4 日（月、火、木、金）搬入

月 13 台、火 12 台、木 13 台、金 13 台

6 今後のスケジュール

2018 年度（今年度）

2019 年 3 月 議会に共同処理に係る事務委託の議案を提出し議案審議

議案可決後、事務委託の規約等の告示、県知事への届出

2019 年度（来年度）

付帯施設の改修、生活環境影響調査、中間処理装置の設置

2020 年度（再来年度）

2020 年 4 月 葉山町の容器包装プラスチックの受入れ開始